

教科書に書いてない！ 珠玉の乳幼児の診察所見

Swing Sign

◇ 高熱、嘔吐などの訴えで受診した児が、人見知りや不機嫌で診察に協力してくれない…。医療者には重要な病気の初期を見逃さない責務がある。

◇ 0歳児であれば、教科書的には sepsis workup の対象となり、入院?! 少なくとも採血検査などで、高熱等の原因を探りたいところでしょうね。

◇ が、お待ちください。重要な診察所見を得るのは、大相撲に例えると、土俵際の決まり手“うっちゃり”、野球なら9回裏2死からの逆転サヨナラ試合に相当する重要な所見を得ることがあるのです。見逃し禁止!! です。

= 教科書に書かれていない Swing Sign を見逃すな! =

◇ 納得できる診察所見が得られない場合、保護者に重大な疾患の初期である可能性についてお話を始めると…、フト見ると、「診察が終わった（いやなことはされない）」と判断した子が下肢をスイングしている！

気づきを保護者に伝え、「ウィルス血症による高熱で、現時点においては重大な疾患は無い！」等と話します。

◇ Swing sign は、乳児早期から、自ら椅子に座り、

足が床に着かない学童期に至るまで見ることが出来ます。子どもが swing

sign を見せたら、その診察時点では、検査不要の病態と断言可能です！

生活者の幸せを担う地域医療の実践を誇りとして

国民健康保険智頭病院

〒689-1402 鳥取県智頭町 TEL.0858-75-3211

